

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141

17年5月29日

全国地方別交流会で全国の経験学ぶ 新潟民商から十名が参加

二年の一回の全商連総会の開催のない今年、全国の運動を交流し学び合い、新たな前進を期すことを目的に、五月二〇・二一日、東京で東日本の民商の三役・婦人・青年・共済の役員が集いました。

交流会に向け読者一一〇名、会員一一名、婦人三七名、青年六名、共済一五名拡大



新潟県連の参加者

安倍内閣の暴走と国民の暮らし 頑張れ民商：中田進先生の講演に爆笑

一日目、関西勤労者教育協会副会長の中田進先生が講演しました。安倍政治で格差がどんどん広がっている実態を分かりやすく、怒りとユーモアを交えて話してくれました。倉敷民商弾圧事件について、「事務局三人の行為は誰にも迷惑をかけていない、違法性はどこにあるのか、知ったものが教えることがなぜ犯罪になるのか、確信をもち、胸を張って堂々とした闘いが求められる」と訴えました。

一日目、関西勤労者教育協会副会長の中田進先生が講演しました。安倍政治で格差がどんどん広がっている実態を分かりやすく、怒りとユーモアを交えて話してくれました。倉敷民商弾圧事件について、「事務局三人の行為は誰にも迷惑をかけていない、違法性はどこにあるのか、知ったものが教えることがなぜ犯罪になるのか、確信をもち、胸を張って堂々とした闘いが求められる」と訴えました。

日程

- ・五月二十九日 三役会
- ・六月一日 西区支部長会議
- ・六月四日 県連総会

新潟民商参加者からは「また中田先生の聞きたいね」との声がでるくらいの大好評でした。

分散会で全国の仲間と交流

二日目は二十の分散会に分かれて交流しました。

東大和民商の班建設伊藤副会長、和合婦人部長は東京・東大和民商の活動に心を動かされました。民商の総会を前に、四十を超える班で班総会を開催して、民商総会を迎えるそうです。入会の際は、①班会に出る②会費を払う③当番をする④商工新聞を読む、の四つの条件を伝え入会してもらっています。会員・家族同士のつながりが強くなり、二十年間会員が減っていないそうです。会員四百名の民商ですが、毎月二百件を超える相談が会員や家族から寄せられているという話に、班建設の必用を痛感しました。

風俗営業の警察の取り締まりの実態に緊張感

札幌の

民商では、会員四名が警察に逮捕されました。いきなり店内に入ってきてお客の前で逮捕。警察への交渉や弁護士を講師にした学習会を開催、料飲業者に商工新聞を拡げ反撃している経験が出されました。兵庫県警では「おしぼりを渡しただけで風営法違反」のガイドラインを作成しており、業者に知らせる運動に広げようとの声が出されました。

青年部員の発言が参加者を励ます

三条民商の佐藤部長は、停滞もあつたが自分が親民商の役員会に出て親と連携して集まりを良くしていると発言。札幌の青年部長は、青年部活動とともに、親に勧められて参加した地元

の班会が励みになっていると発言、青年も交流できる民商の魅力が語られました。

拡大運動で頑張る！北海道・商工新聞で現勢回復

北海

道の参加者は、商工新聞で総会時現勢を回復する大奮闘で交流会に参加し、すごく元気でした。旭川民商の拡大推進委員著は、役員のレベルをもっと上げて民商の値打ち、情勢を自信をもって語れるようにして、拡大を前進させたいと語っていました。

動画の持つ力を知る

青年部 動画セミナー

5月22日(月)東区プラザに於いて、青年部主催で動画セミナーを開催しました。

講師に中央支部の三浦さん(電気店)を迎え、動画の魅力や活用術を実際の動画を見ながら教えて頂きました。

初めての試みで、最初は硬さも見られた三浦さんでしたが、最初の質問で参加者の心を掴んでいました。



「1分の動画を文章で説明しようとしたら原稿用紙何枚になると思いますか」参加者から「10枚」「150枚位かな」と声があがりましたが、セリフはもちろん、シチュエーション、服装、表情、雰囲気など細かく説明しようとする、なんと原稿用紙5000枚にもなるそうです。1分の動画で5000枚ですよ、動画ってすごいと思いませんか。

また動画には3種類あって、イメージアップに特化したHERO動画、商品やサービスとユーザーを結ぶHUB動画、説明に特化したHELP動画があり、それぞれを上手く使い分けられることが大事だという事がよく分かりました。



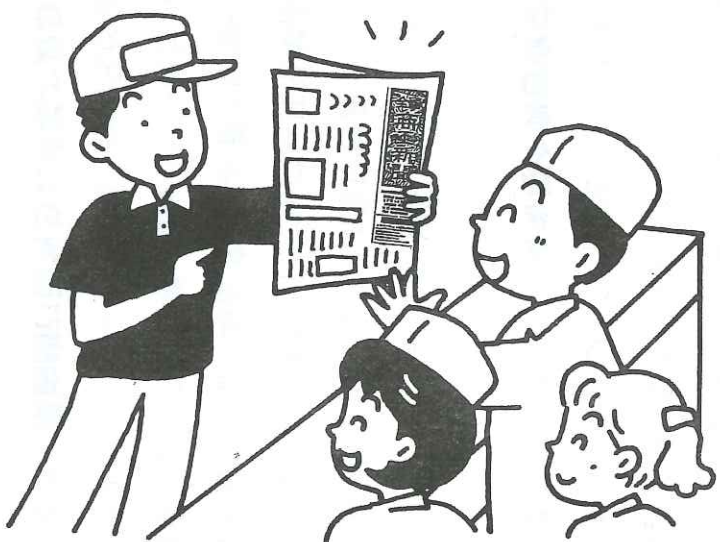
今はスマートフォンでも簡単に動画が撮れる時代です。しかし、営業でYOUTUBE動画を活用しているのは0.001%にすぎないとのこと、気軽に始めてみませんか、自分で作るもよし、人に頼むもよし、新しいビジネスチャンスが転がっているかもしれないですよ。

流作場支部拡大宣伝行動

5月16日(火)流作場支部で拡大宣伝行動を行い、藤崎支部長(管工事)を先頭に会員、会外合わせて30件を訪問しました。

民商の運動によって創設された新潟市の商店魅力アップ助成金チラシを手に説明をすると、料飲業者のみなさんは熱心に話を聞いてくれ「貴重な情報ありがとうございます。」

「今回周り切れなかった所をまた日を改めて周ろう！」と藤崎支部長も訪問行動にやる気満々です。



駅前支部拡大宣伝行動

5月16日(火)駅前支部でも行動。小池さん(ラーメン蓬萊)と事務局が二手に分かれ、40件を訪問しました。

9月21日(木)に開催される「駅前夜のオリエンテーリング」の詳細を説明しながら、参加のお誘いを兼ねて訪問。日頃仕事が終わってからいろんなお店に食べに行っている小池さん。息子さんのお友達や顔なじみの方がたくさんいらつしやり、笑顔で迎えられました。以前に断られた方や「馮コンも断っているんだよね」という方も「1000円で1フード1ドリンク出してください、損して得とれの気持ちで次につなげるきっかけにしたい」と小池さんの呼びかけに考えてみると言ってもらいました。新たに参加してみたいという方も何人かいらしやり、これから仲間が増えそうです。以前商工新聞の購読をすすめていた方も覚えていて、快く読者になってくださいました。

時間を忘れるほど、有意義な訪問となりました。